

# 国展工芸

への誘い

(5)

## 鉄絵井戸図大皿

バーナード・リーチ



## 東洋と西洋 美の融合

日本で幼少期を過ごし、東洋と西洋の美の融合を目指したイギリス人陶芸家バーナード・リーチ（1887～1979）は、富本憲吉や濱田庄司らと早くから親交を深めた。国展にも最初期から出品している。本作は54年10月に栃木県益子を訪れ、佐久間藤太郎の工房で作陶したものとされる。リーチが東洋で強い印象を受けた井戸は初期作品から登場するモチーフである。

（益子陶芸美術館・松崎裕子）

「90回記念国展工芸沖縄展—黎明から現代 匠の系譜」は10月2日まで。月曜休館（9月19日は開館、翌20日は閉館）。県立博物館・美術館美術館企画展示室。

入場料は一般1200円、小中高500円。未就学児無料。

バーナード・リーチ「鉄絵井戸図大皿」